

仙台市 連合町内会長会だより

平成8年3月

第 7 号

発 行
仙台市連合町内会長会

題字は藤井仙台市長



仙台市葛岡工場・リサイクルプラザなど

(青葉区郷六字葛岡57番地)

目 次

あいさつ ②

仙台市連合町内会長会
会長 永田百男

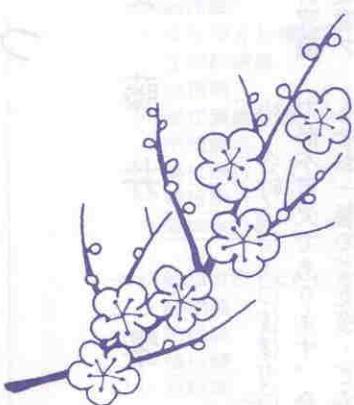
仙台市長 藤井黎

各区連協活動状況 ③~⑦

全国自治会連合会大会
及び他都市視察報告 ⑧市役所・区役所の組織
変更について ⑨

市連長会の活動 ⑩

編集後記 ⑩





ごあいさつ

仙台市連合町内会長会
会長 永田百男

暑さ寒さも彼岸までといわれますが、寒さもやわらぎ、春の訪問が近くなつてしまい、桜前線の花よりも聞かれるようになります。町内会の皆様には寧日なく、地域の指導者として、地域の発展と住民の福祉向上にご尽力されておられますことにつきまして心から敬意を表し、感謝申し上げます。

平成七年は激動の年であります。年あけ早々の阪神大震災があり、地下鉄サリン事件等のオウム関連事件、円高問題、金融不安など、政治・経済・社会の各分野において混乱を招いた年であります。また、戦後五十年ということでき、戦後の日本の歩みを反省すべき大きな転換点であったと思ひます。

阪神大震災につきましては一年あまり経過したわけでありますが、六三〇〇人の人々が亡くなられ、九万人の人が現在仮設住宅生活を余儀なくされる現状を思いますと胸の痛む気持ちであります。一日も早い復興と安らぎのある生活をとりどりあります。私達も十七年前、宮城県沖地

震を経験いたしておりますが、やつぱり大事なのは便利さでも豊かさでもなく、安全で安心して暮らせる生活だという教訓を得たという事であります。世界・日本・仙台市にとって激動の20世紀は余すところ僅かとなりました。

21世紀の仙台市の都市づくりについて現在、仙台市は取り組んでおられます。藤井市長さんは新春市長対談において、21世紀の仙台市まちづくりについて「杜の都」という伝統的な私たちの財産、この「杜の都」のイメージを21世紀的要素を加えて後世に伝えていく、それによって個性をより強く表現していくこと、もう一つは、都市の独り立ち、自立を高めていくこと、仙台をもつと性格の強い都市にしていきたい」といつておられます。

今年は、「21世紀都市仙台」への道筋を確かなものとし、杜の都にふさわしい個性と自主性を持つた「仙台」の創造のため防災対策、環境保全などに配慮するとともに、躍動感にあふれた魅力ある都市文化の創造、高度情報化社会に向けた産業施策等を積極的に推進してまいりました。

こうした時代の転換期を乗り越え、21世紀の仙台の未来を感じた一年もありました。

最後になりましたが、各町内会の益々の発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げございさつといたします。

仙台市連合町内会長会の皆様には、日頃、市民福祉の向上と地域発展のためにご尽力をいただき、また市政運営に特段のご協力を賜っておりますことに対しまして、紙上をお借りし心から厚く御礼申し上げます。

さて、今世紀もわずか数年を残すのみとなり、新しい時代の幕開けが近づいておりますが、21世紀の仙台を希望に溢れ、充実した生活を実現できるような都市にするため、決意を新たにしているところでございます。

今年は、「21世紀都市仙台」はじめ、想像を絶する様々な事件、事故が相次ぎましたが、国際化や高齢化、高度情報化などの進展が一層身近に感じられるなど、新しい時代の潮流を強く感じた一年もありました。

め、各町内会長の皆様方のご協力が不可欠であります。今後ともなお一層のご支援・ご協力を

お願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、仙台市連合町内会長会の益々の発展と会員皆様方のご健康とご活躍をお祈念いたしましてございさつとさせていただきます。

最後になりましたが、仙台市連合町内会長会の益々の発展と会員皆様方のご健康とご活躍をお祈念いたしましてございさつとさせ

ざいます。

更に、「仙台都市総合研究機構」の設立、「杜の都の環境プラン」の策定推進や「すこやか

子育てプラン」づくりの着手等、

さまざまな対応を進めて参りました。

また、「第2回若い音楽家のためのチャイコフスキーオンクール」は多数の市民やボラ

ンティアに支えられ「楽都仙台」を世界にアピールすること

ができました。

今年は、「21世紀都市仙台」

への道筋を確かなものとし、杜

の都にふさわしい個性と自主性

を持つた「仙台」の創造のため

防災対策、環境保全などに配慮

するとともに、躍動感にあふれ

た魅力ある都市文化の創造、高

度情報化社会に向けた産業施策

等を積極的に推進してまいりました。

こうした時代の転換期を乗り

越え、21世紀の仙台の未来を切

り開く新しい都市づくりのため、

昨年は「新総合計画」の策定作

業を開始し、町内会の皆様方の

協力も得て全市民アンケート

調査を実施いたしましたところでご

連合町内会長会の皆様方をはじめ

いたしました。

ご協力も得て全市民アンケート

調査を実施いたしましたところでご

連合町内会長会の皆様方をはじめ

いたしました。

青葉圖



青葉区連協
平成七年度活動狀況

平成七年度の活動としては、新任町内会長研修会をはじめとして、町内会会員研修会を開催とくに新しく町内会長になられた方々から、市の行政の仕組みや対応などについて、多くの質問が寄せられ、予定時間を大幅にこえる有意義な研修会となりました。

また、役員会、理事会を隨時に開催し、区連協事業についての協議や、新しく区のスポーツ施設の拠点となる（仮称）仙台市青葉区体育館の建設概要、クリーン仙台推進員設置要綱、『豊齢化社会づくりに関する基礎調査』などについて、市の担

新任町内会長研修会



日 時 平成七年七月二十八日

A photograph showing a man in a dark suit standing behind a wooden podium, speaking into a microphone. He is gesturing with his hands as he speaks. In front of him, several rows of people are seated in white chairs, facing the speaker. The background features a large banner with Japanese text.

また、新しい杜の都づくり葉区協議会の各種事業に積極的に参加するよう呼びかけ、なかでも「青葉区民まつり」には、それぞれ趣向をこらし参加、区民手づくりのまつりにと意氣込んでおります。「ほたるの里事業」、「クリーンあおば事業」等にも参加、明るく住みよいまちづくりに努力しているところであります。

当課から説明を受け、区連協としての対応を協議しました。この他、各連合町内会では地域懇談会、「動く区長室」などを開催、区におけるまちづくり等について提言、要望を行つております。

つある人ととのふれあい、そしてぬくもり。地域の連帯感が少なくなるなか、良好な近隣関係を地域活性化に見えてこない。

後藤団長からは、日頃の仕事を通して感じたこと、予算獲得の苦労話などユーモアをまじえての話を、また、マリア寺澤さんからは、ドイツ出身であることから、生活習慣の違いや仙台にきて感じたことなど、興味深

平成四年度から開催している会員研修会も、今回で四回目を迎えましたが、講師として後藤青葉区長と在仙の留学生や外国人との相談や世話を、ボランティア活動を通して積極的に行っておられるマリア寺澤さんをお招きして、それぞれの立場から講演をしていただきました。

町内会会員研修会

田中美知男 氏

ついての一考察

千賀 昭一 氏

地域環境整備事業について

青葉図書会「ぐり推進課長

卷之三

河原政喜氏

「青葉区」の概要について

云場勾當台會館
參加者七十名

い話を流暢な日本語で話をして
いただきました。

八幡・立田・松ヶ丘・国見
北六の各連合町内会では地域
談会を開催し、地域のまちづくりについての提言、要望を行いました。

平成七年度地域懇談会



青葉区連合町内会長協議会



宮城野区連合町内会長協議会は、13連合町内会、208単位町内会で組織運営されており、各連合町内会の相互の連絡協調、親睦を深めながら町内会活動を積極的に推進しているところです。

宮城野区連協 平成七年度活動状況



▽総会
4月26日、平成七年度総会が開催されました。平成6年度事業報告、決算報告、平成7年度事業計画案、予算案、役員改選案の議案が提出され、原案どおり承認されました。

総会後の懇親会には、藤井市長、佐藤市民局長、津谷川区長他ご来賓を迎えて、今年度の決意も新たに、活動を開始しました。



▽青葉まつりへの参加
5月21日、第11回青葉まつりが開催されました。今年の宮城野区の役割は「槍隊」で、各連合町内会推薦他総勢23名の皆さんが、振付の先生をお迎えしての稽古を積み、本番に臨み杜の都の初夏を彩る祭りを盛り上げました。



▽区連協移動研修会
8月31日・9月1日、白石市小原温泉の「かつらや」にて開催されました。
初日は、新しくできた「白石城天守閣」「歴史探訪ミュージアム」、二日目は白石市の名産「白石温麺工場」を見学しました。

出席者は、宮城野区役所より6名連合町内会長16名でした。

▽区連協新年会

1月19日、仙台サンプラザにおいて開催され、平成八年のはじまりを祝いました。

▽区連協定例会の開催

隔月第三木曜日に13連合町内会長が集まり、定例会を開催しました。東海林収入役はじめ桜井市民局次長、津谷川区長他ご来賓を迎え、参加者55名を得て今年の宮城野区のまちづくりについての意見交換、各連合町内会の相互交流、情報交換、懇親を行いました。

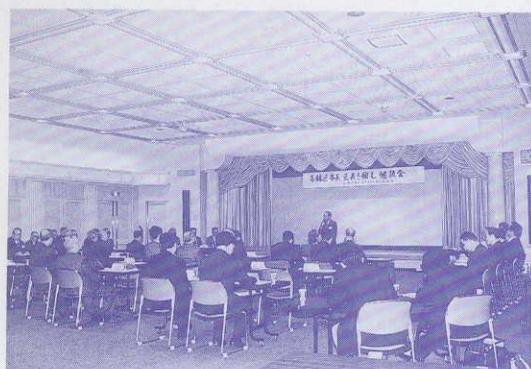
▽歓送迎会
6月15日、第2回定例会終了後、区連協のメンバーの交代に伴う歓送迎会が開催されました。退任された会長さんのこれまでの功績をたたえ、新しく連合町内会長になられた方々のこれから活躍を期待し、終始和やかな雰囲気のなかに（連合町内会長のバトンタッチを行いました）。

▽第7回み・や・ぎ・の・まつりへの開催協力
10月15日、新しい杜の都づくり宮城野区協議会主催による「第7回み・や・ぎ・の・まつり」が榴岡公園において開催されました。

「今年は何かが違う！」と銘打っての開催でしたが、これまでもない大勢の皆さんに集まつていただき、快晴の秋の一日を楽しんでもらいました。

▽宮城野区連合町内会長協議会意見交換、情報交換を行なうます。会長 永田百男





若林区連合町内会長協議会は、平成 8 年 1 月現在 9 連合町内会 172 単位町内会で組織運営をしています。

次に、平成 7 年度の活動内容について、開催順に紹介させていただきます。



若林区

若林区連協 平成 7 年度活動状況

一、市長・区長を囲む懇談会の開催

4月20日、平成 7 年度の仙台市や若林区における主要事業に關し、全般に亘り説明を受け、要望意見として、公園整備事業の促進、阪神大震災の教訓として、防火用水槽等の設置促進、若林警察署の設置等について、活発な質疑をかわし盛況裡に終了しました。

さまざまな問題を互いに情報交換しながら親睦を深めました。昼食後は、天然記念物のあぶくま洞を見学し、太古のミステリアスゾーンで地底世界を楽しみました。次に三春町のデコ屋敷を視察し、有意義な研修会の一日を過ごすことができ、参加町内会長より大変好評をいただきました。

全面的に協力いたしました。

六、定例理事会の開催

毎月各地区連合会長の参加による定例の理事会を開催し、区連協運営の全般に関し、意見交換のうえ、区連協の運営に当たっております。

二、平成 7 年度区連協定期総会の開催

4月26日、新しく就任された伊藤区長ほか、多数の来賓を迎えて開催されました。

平成 6 年度事業報告・収入支出決算報告

平成 7 年度事業計画案・収入支出予算案について

原案通り承認されました。

三、町内会長移動研修会開催

8月31日、町内会長104名の参加をえて、研修会を実施しました。



七、若林区再発見

VTRコンクールの協力

若林区の魅力あふれるまちづくりを推進するとともに区民ふるさと意識を醸成し、一層の高揚を図るため、若林区の自然・街角・歴史遺産・名物・祭りや地域行事、伝統工芸及びそれに関わっている人々の様子等、ふるさと若林をテーマにしたビデオ作品の募集に協力しました。

応募作品の中から、入賞作品については、市民の学習情報の素材として、学校その他の生涯学習施設等で幅広く活用されることになっており、区連協ではこのVTRを用いてまちづくり推進の高揚のため全面的に協力することにしました。

五、若林区名画鑑賞会の協力

若林区文化センターを若林区の文化発信の拠点施設として支援するとともに、区文化活動の活性化と地域の人々のコミュニティの推進を図るために、若林区主催の映画鑑賞会に協力をしました。

以上が、若林区連合町内会長協議会の平成 7 年度の主な活動状況であります。

四、「若林区民ふるさとまつり」開催への協力

10月21・22日、若林区民ふるさとまつり実行委員会主催の第

7回「若林区民ふるさとまつり」に対し、組織の一員として

車中、事務局より参議院選挙の投票結果、クリーン仙台推進員事業、10月に行われる国勢調査の協力依頼と若林区民ふるさとまつり概要など説明を受けながら、一路福島県へ、始めに小野町の諏訪神社を見学して、あぶくまパークセンターで昼食をとりながら、町内会の現況など

10月21・22日、若林区民ふるさとまつり実行委員会主催の第7回「若林区民ふるさとまつり」に対し、組織の一員として

映となり、テレビでは味わえない迫力と名画をより多くの方々に鑑賞していただけるよう、区連協としては、パンフレットの配付に全面的に協力いたしました。

若林区連合町内会長協議会
会長 佐藤文也

な問題が山積しております。日々の活動で、個人や個々の家庭の力だけでは解決できないいろいろな問題が山積しております。日々の活動で、個人や個々の家庭の力だけでは解決できないいろいろな問題が山積しております。

また、身近な地域に目を向けますと、防火や防災に対する対策、交通安全、青少年の健全育成など、個人や個々の家庭の力だけでは解決できないいろいろな問題が山積しております。

天気にも恵まれ、10万人にも及ぶ区民が会場を訪れました。

「螢の里づくり」

荒川上流で第1回ほたる祭りを開催した他、ニナ貝の養殖池を造成して、区内全体で養殖や研究の成果を利用できるよう、

太白区では、現在、南の副都心として位置づけられる長町地区の開発計画が着々と進んでおります。その中には、旧国鉄貨物ヤード跡地を含む1.1ヘクタールの土地区画整理事業、文化センターが建設される長町駅前の市街地再開発事業、そのほか、音楽堂と女性センターの建設など大規模プロジェクトが目白押しです。太白区連合町内会長協議会といたしましても区内18連合町内会、252単位町内会と相互に密接な連携をとりながら、区民参加による太白区の新しいまちづくりをめざしてさまざまな事業に取り組んでおります。

「第7回太白区民ふるさとまつり」

年々盛大なものとなっている「太白区民ふるさとまつり」が、今年も10月15日に太白区役所前広場を中心を開催されました。今回は、パレードやステージに様々な趣向を凝らし、例年にない盛り上がりをみせるとともに、

計画をすすめています。
「あやめの里づくり」
先進地視察を行ったり、子供会も清掃活動に参加するなど、周辺地域での活動の輪が広がっています。今年はあやめもたくさん咲き、活動にも弾みがつきました。

「ディスカバーたいはく」
パンフレットの第2刊、「太白区の街道と史跡」の編集に取り組む他、第1刊で取り上げた「太白区の自然」をテーマとして、秋保の二口地区で「名取川遊び」を実施しました。区民に

太白区連協
平成7年度活動状況

太白区では、現在、南の副都心として位置づけられる長町駅前の市街地再開発事業、そのほか、音楽堂と女性センターの建設など大規模プロジェクトが目白押しです。太白区連合町内会長協議会といたしましても区内18連合町内会、252単位町内会と相互に密接な連携をとりながら、区民参加による太白区の新しいまちづくりをめざしてさまざまな事業に取り組んでおります。

△地域懇談会の開催
地区連合町内会主催による地域懇談会を区内6箇所で開催し、区のまちづくり等について幅広い提言、要望等を行いました。

△新しく杜の都づくり太白区協議会との連携
当協議会は、新しい杜の都づくり太白区協議会と一体となって各種の行事に取り組んでおります。



太白区

常生活の基盤である地域社会を住みよい豊かなものにするために当協議会は、地域住民の自覚と自主性をもとに、お互いの連携と融和を図り、よりよい地域づくりを進めるべく努力しております。

以下、平成7年度の主な事業について紹介いたします。

△地域懇談会の開催

地区連合町内会主催による地域懇談会を区内6箇所で開催し、区のまちづくり等について幅広い提言、要望等を行いました。



よる区の魅力の再発見が狙いの本事業は、沢山の市民の参加をいただき好評でした。

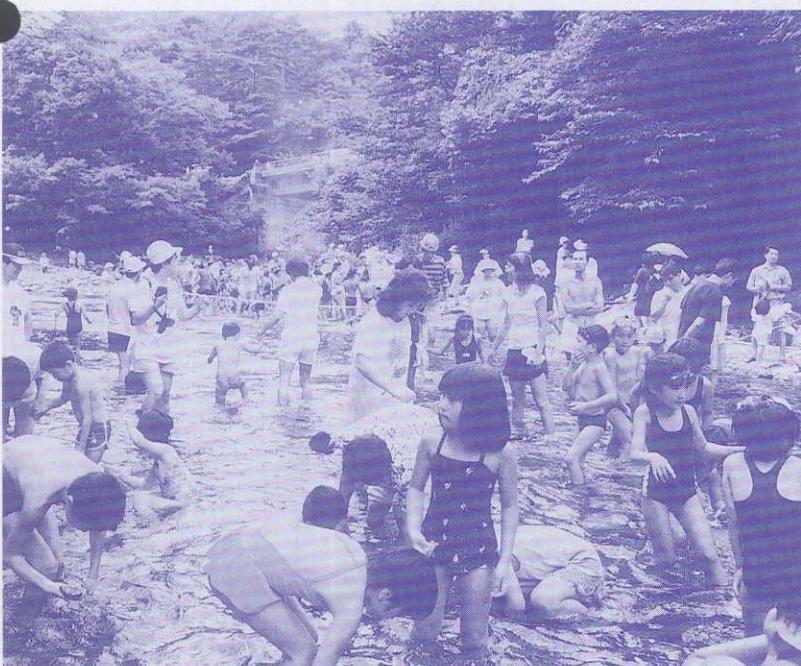
△移動研修会の実施

9月28日～29日、山形県肘折温泉を会場に、太白区の荻野区長をはじめとする区職員の多数の出席を得て、区のまちづくりについて活発な意見交換を行いました。途中、新庄ふるさと歴史センター、河北町紅花資料館、慈恩寺などを見学し、見聞を広めました。

10月25日、太白区の一つの財産ともいえる秋保の二口の紅葉

太白区連合町内会長協議会会長 早川 五兵衛

年があけて1月18日～19日、秋保温泉において新年会を兼ねて実施しました研修会においては、仙台市の加藤助役をはじめ多くの区職員を交えて、市政全般から地域の問題にいたるまで和やかな雰囲気の中で意見交換をしました。



を愛で、太白区の豊かな自然を改めて実感した後、川崎町釜房湖畔において研修会を行いました。年があけて1月18日～19日、秋保温泉において新年会を兼ねて実施しました研修会においては、仙台市の加藤助役をはじめ多くの区職員を交えて、市政全般から地域の問題にいたるまで和やかな雰囲気の中で意見交換をしました。

◎ふるさと創生事業 「七北田川あゆ放流会」 参加

泉区のシンボル・泉ヶ岳。そこを源流とする七北田川は、古来から、周辺に住む人たちの暮らしを支えてきました。6月4日、この川の清流を守りアユの

6月1日、佐藤泉区長ほか、多数の来賓を迎えて開催されました。平成6年度事業報告・収入支出決算報告、平成7年度の事業計画案・収入支出予算案・役員の改選について原案通り承認されました。

◎平成七年度区連協総会

6月1日、佐藤泉区長ほか、多数の来賓を迎えて開催されました。平成6年度事業報告・収入支出決算報告、平成7年度の事業計画案・収入支出予算案・役員の改選について原案通り承認されました。



◎泉区選出県議・市議との懇談会

9月8日、ニューワールドホ

テルにおいて、泉区選出県議・

市議を招き、会員22名参加のも

と懇談会を開催しました。区連

協として日頃から泉区全体にか

かる諸問題を議員の皆様に提示

し、問題の解決に向け意見の交



研修会は、5日午後一時から

区役所会議室において、泉区役所建設部長の和泉 繁氏をお迎えし、「花・緑・アラカルト」と題した講話をいただきました。

「これからの中づくりは、区

民ひとりひとりが自然に親しみながら同時に知識も得られるよ

うな環境づくりが大切であり、

官民が一体となって、緑豊かな

まちづくりをすすめることが必

要です。」と言葉を和泉部長さん

の講話に参加者一同は、強く感

ずめる川として、子供たちの代にまでも引き継いでいこうと、「アユの放流会」に町内会長多数が参加いたしました。

する心の深い次の七つの事項について意見交換をいたしました。

一、地下鉄延伸について
二、元宮城県運転免許センターの跡地利用について
三、仙台商業高等学校の泉区への移転について

四、東北縦貫自動車道路の中山地区インター・エンジの建設について
五、泉総合運動場の屋根付多目的グランドの整備について
六、新墓園計画について
七、八乙女折立線（浦田工区）の見通しについて

四、東北縦貫自動車道路の中山地区インター・エンジの建設について
五、泉総合運動場の屋根付多目的グランドの整備について
六、新墓園計画について
七、八乙女折立線（浦田工区）の見通しについて

◎連合町内会長研修会 22名参加のもと開催されました。

◎連合町内会長研修会 例年開催されている恒例の移動研修会が、10月5日と6日の両日にわたり、佐藤泉区長さんを来賓として迎え、区連協会員

ことを了承し、実り多い有意義な会となりました。

◎連合町内会長研修会

例年開催されている恒例の移動研修会が、10月5日と6日の両日にわたり、佐藤泉区長さんを来賓として迎え、区連協会員

22名参加のもと開催されました。

◎連合町内会長研修会 22名参加のもと開催されました。

◎単位町内会長研修会 11月19日、20日の両日、恒例の移動研修会が86名の町内会長の参加をえて開催されました。

19日、午後からの研修は、仙台市職員研修所の大研修室において、(財)瑞鳳殿顧問伊達篤郎氏を講師にお迎えし「乱世を生き抜いた政宗」と題した講演をいただきました。

終了後は、会場を松島町のホテル五大堂に移し、町内会の現況など、さまざまな問題をお互いに話し合いながら親睦を深め、参加した町内会長から大変な好評をいただきました。

以上で平成七年度の活動の紹介を終わりますが、今後とも地域にあって潤いと活力のあるまちづくりのため、行政と一体となって取り組んで参る所存であります。

これらのことについて、各議・市議の皆様と密度の濃い情報の交換を行ったことにより、区連協会員との認識の差が縮まりいただき、引き続いて区連協側の紹介の後、懇談に入りました。

した全議員の皆様から挨拶をいたしましたので、出席

いたり、引き続いて区連協側

の紹介の後、懇談に入りました。

ような懇談会の機会を再び開く

ことでした。

第二部の研修会は、会場を志津川町のホテル観洋に移し、町内会活動についての意見交換と懇談を行い有意義な研修会となりました。

銘をうけました。

第二部の研修会は、会場を志

津川町のホテル観洋に移し、町

内会活動についての意見交換と

懇談を行いました。

◎単位町内会長研修会 11月19日、20日の両日、恒例の移動研修会が86名の町内会長の参加をえて開催されました。

19日、午後からの研修は、仙台市職員研修所の大研修室において、(財)瑞鳳殿顧問伊達篤郎氏を講師にお迎えし「乱世を生き抜いた政宗」と題した講演をいただきました。

終了後は、会場を松島町のホテル五大堂に移し、町内会の現況など、さまざまな問題をお互いに話し合いながら親睦を深め、参加した町内会長から大変な好評をいただきました。

以上で平成七年度の活動の紹介を終わりますが、今後とも地域にあって潤いと活力のあるまちづくりのため、行政と一体となって取り組んで参る所存であります。

これらのことについて、各議・市議の皆様と密度の濃い情報の交換を行ったことにより、区連協会員との認識の差が縮まりいただき、引き続いて区連協側の紹介の後、懇談に入りました。

した全議員の皆様から挨拶をいたしましたので、出席

いたり、引き續いて区連協側

の紹介の後、懇談に入りました。

ような懇談会の機会を再び開く

ことでした。

第二部の研修会は、会場を志

津川町のホテル観洋に移し、町

内会活動についての意見交換と

懇談を行いました。

銘をうけました。

第二部の研修会は、会場を志

津川町のホテル観

全国自治会連合会大会
及び他都市視察に参加して
今年度の研修は、今年本会が全
国自治会連合会に加入したこと
もあり、同大会への参加と他都
市の自治組織の調査も兼ねて十
一月七日から二泊三日の行程で
実施されました。今回この研修
会に参加の機会を得ましたので
概要を紹介させて頂きます。

全国自治会連合会大会参加

十一月七日岐阜市の長良川国際

議場で地元岩佐岐阜市連合会
長の開会の言葉で幕を明けた全
国自治会連合会大会では、全国
自治連会長の国方氏(香川県)の
挨拶に引き続いだ自治組織の發
展向上等に特に功績があつたと
して全国三五名の方に対する表
彰が行われました。本会の早川
顧問と永田会長もその功績が認
められ表彰の栄に浴されました。

岐阜県知事や岐阜市長などの祝
辞の後、村山総理大臣及び深
谷自治大臣のメッセージが読み
あげられ、続いて次の大会ス
ローガンが満場一致で採択され
ました。①関係行政機関と協力
して人間味豊かな福祉コミュニ
ティづくりに努める②地方自治
の更なる充実と発展を目指し、
住民自治組織の確立に努める③
全国の仲間と手を携え交流を深
め連帯の輪を広げるため、なお
一層の加入促進を図るとともに
その辯を強く広め生活文化の向

上に努める。

次期開催地の静岡県

自治会連合会会長の挨

拶で幕を閉じた大会は、

お国なまりの飛びかう

文字通り全国からの自

治会関係者の参加と国

・県・市などの各行政

機関との密接な連携を感じさせ

した。

続く講演会では、日本書記な
どにも記述が見られる伝統的漁
法で、今日では芸術にまで高め
られたという長良川の鵜飼につ
いて、数少ない鵜匠頭の一人杉
山氏による講話と水槽を使って
の実演が行われました。

伝統を守る苦労話や古代人の知
恵に感慨を覚えてか、皆聞き入
る様子が印象的でした。

横浜市の平成七年四月一日現
在の人口は三三〇万二千人(仙
台市の約三・四倍)世帯数は一
二四万九千世帯(仙台市の約三
・二倍)港北区の人口は二七万
八千人。世帯数は十一万七千世
帯でした。

町内会自治会等の組織
①横浜市町内会連合会 一団体
②区連合町内会 一八団体
③地区連合町内会 二三五団体
④自治会・町内会

町内会長等に対して身分保障
はしていないので公務災害補
償制度のようなものはない。
又町内会等が任意に民間保険
を掛けている場合も行政から
の助成はない。

一部当り月九円(市)
一部当り月八円(県)
組織した団体(単位町内会
等)に
一世帯当たり二〇〇円(年)

仙台市連合町内会長会
庶務理事 椎井
一

地域振興課の鶴岡課長ほかの
方々と交流会を開催しました。
横浜市町内会連合会に
一六〇万円(年額)
②区連合町内会に
一五〇万円(年額)
③地区連合町内会に
一四五円(一世帯)
④単位町内会に
九〇〇円(一世帯)
一部当り月九円(市)
一部当り月八円(県)
組織した団体(単位町内会
等)に
一世帯当たり二〇〇円(年)



町内会長の行政上の身分
行政上の身分はない。従つて
進められた地区で、新住民が多
く、それだけにその融和やコ
ミュニティの推進に関する町内
会、行政側ともに熱心に取り組
んでいる様子でした。昨年の阪
神・淡路大震災のち、町内会
への加入を拒む人が殆どいなく
なり、地域コミュニティの大切
さが再認識されているのを肌で
感じているとの説明が印象的で
した。

市との関係では、市からの依
頼事項や運営費助成等について、
若干の相違はあるものの仙台市
と実質的には殆ど同じ内容と
なっており、活動に対する保険
の問題等の課題も共通のようにな
りました。

横浜市内でも比較的最近開発が
進めた地区で、新住民が多
く、それだけにその融和やコ
ミュニティの推進に関する町内
会、行政側ともに熱心に取り組
んでいる様子でした。昨年の阪
神・淡路大震災のち、町内会
への加入を拒む人が殆どいなく
なり、地域コミュニティの大切
さが再認識されているのを肌で
感じているとの説明が印象的で
した。

他都市視察
住民自治組織の現状と事業概
要などについて調査するため、
①広報印刷物の配布回覧等
②物品金銭等の配布取扱
③各種委員の推薦

・市長との懇談会(年一回)
・研修会(年一回)
・行政からの依頼事項の審議承
認

(市側)市民局地域振興課
(区側)区役所地域振興課
専属の事務局職員はない
全市連合組織の事業活動
・定例会(年十回)
・研修会(年一回)
・街路灯の助成

行政からの街路灯助成がない
ため、地域振興協力費と町内会
費で賄っている。



4月から 市役所・区役所の組織が変わります!!

1 保健医療、福祉事業の一体的推進

(1) 健康福祉局の設置

急速に進展する高齢化等の社会状況の変化に対応し、保健医療、福祉事業の一体的な企画立案及び推進を図るため、民生局と衛生局を統合し健康福祉局を設置します。

(2) 区役所保健福祉センターの設置

保健医療、福祉事業に係る行政サービスを一元的に提供するため、衛生局保健所と区役所福祉部を統合し、各区役所所管の部相当組織として保健福祉センターを設置します。なお、本庁組織の改正にあわせ、保健福祉サービスの一元的提供のため高齢保健福祉課及び保健福祉課を設置します。

2 組織機構の簡素・合理化とわかりやすい組織名称

効率的な行政運営を図るなどのため、組織の統合、再編を進め、1局14部19課(部課相当の組織を含む)を削減するとともに、新たに設置する組織は1部3課にとどめ、組織機構の簡素・合理化を図ります。また組織名称を市民の方々にわかりやすいものにするため、4部13課で名称変更を行います。

3 その他

(1) 空港港湾対策室の新設

空港港湾に関する事務を一元化し、その一層の推進を図るため、都市整備局港湾対策室と企画局企画課の事務の一部を再編し企画局に空港港湾対策室(部相当)を設置します。

(2) 国体準備室の新設

平成13年度に予定されている国民体育大会の開催にむけ体制の整備を図るため、教育局生涯学習部に国体準備室(課相当)を設置します。

※組織図は区役所のみ掲載しています。

